

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市鹿野児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク
3	指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 23,595人 (前年度比 116.7%)  平成29年度 20,215人  平成28年度 19,667人  平成27年度 19,457人</p> <p>《事業》  児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 ( )は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者に支払った費用 26,539千円 ( 26,833千円)</li> <li>その他市が負担した費用 0千円 ( 0千円)</li> </ul> <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使用料収入 0千円 ( 0千円)</li> <li>その他収入 0千円 ( 0千円)</li> </ul>
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館地域運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、夏季休業中に製作活動等を多く設けるなど、クラブで過ごす時間が長くなる子どもの遊びに配慮するほか、子ども達が遊びやルール決めに関わる機会を設け主体的な生活を支援している。保護者の組織活動を支援し、夏季休業中の親子行事「ミニ緑日」の実施等により、保護者との協力関係を築きながら、親子交流、保護者同士の交流の場を設けている。クラブ通信を年10回発行し、育成支援の内容や子どもの様子について適切に家庭に伝え、家庭と連携した育成支援に取り組んでいる。	18/18

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
<b>加点評価</b>	
—	

### 四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク）による自己評価》
<p>「安心・安全」で居心地のよさを感じていただける身近な存在としての児童館を目指し、運営を行った。地域の方々と館の利用者をつなぐ「かけ橋」の役割を担いながら、誰でも気軽に来館し楽しく過ごすことができる雰囲気づくりに努めた。</p> <p>子育て支援事業では、子育て支援クラブとの共催事業や民生委員児童委員と共催のサロンなど多くの協力をいただき、地域ぐるみの子育てを行い、児童館はその拠点として貢献できた。</p> <p>乳幼児親子対象事業では手遊びや読み聞かせ、音楽遊び、幼児親子対象事業では季節に合わせた遊びや工作を行うなど、誰でも気軽に参加できる行事を中心に、子どもの発達・興味に合わせて実施した。親子の居場所を提供し、触れ合いの場づくりや友達づくりの機会を設けた。児童対象事業では、工作や運動をはじめ、科学遊びや伝統凧作りなど、普段、家庭ではできないことも体験し、達成感や自己肯定感につながった。</p> <p>4～6年生対象「たのシクラブ」の活動では、自由な発想の下、自分達で様々な事業を企画・運営し、自主性が育ってきていると同時に、年長者としての自覚も出てきており、色々な面で成長が見られた。</p> <p>中高生対象事業では、放課後の居場所提供事業が定着しており、児童クラブを卒会した中高生が遊びに来る姿も多く見られた。職場体験やボランティアなどの積極的な受け入れや中学校の吹奏楽部発表など、継続的な交流も続いている。</p> <p>児童クラブ事業では、家庭や保護者会、小学校とも連携をとり、利用者に寄り添った運営を行った。</p> <p>児童館地域運営懇談会や利用者懇談会では、小学校の校長先生やPTA会長、町内会長、各種関係機関、子育て中の保護者などから色々な意見をいただき、館運営に反映させた。</p> <p>今後も地域を支える重要な機関としての役割を果たすとともに、地域の居場所として皆に親しみを持ってもらえるよう、きめ細やかなサービスの提供を継続していきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>定期的に、乳幼児向けの活動、民生委員児童委員と連携した保護者向けサロン、看護師との少人数グループ相談等を実施し、地域で子育てしやすい環境づくりに努めており評価できる。</p> <p>小学生高学年の活動に関しては、子どもが企画・運営に関わり地域の夏まつりにブース参加する等、主体的な取組みを支援している。小学校の協力を得て校庭を活用し日常的に屋外遊びの場を確保するとともに、児童クラブの本館、サテライトの交流や、児童クラブに通っていない地域の子どものとの交流を広げている。また、多様な定例・企画行事から子どもの遊びや活動の内容を広げるなど健全育成に取り組んでいる。</p> <p>児童館運営委員会では、小・中学校、区家庭健康課、民生委員児童委員協議会、体育振興会、町内会等、地域の子ども・子育てに関わる方々に対し児童館理解の場を設けている。また、子育て支援クラブや民生委員児童委員と連携し、季節行事や町内会の方と「まち探検」を実施するなど、地域の方々との交流を通して、地域で子どもを見守り健全育成を進める環境づくりに取り組んでいる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室